



やまがた

祖父母の味を継ぐことを決意してから5年。貴仁さんが打ったそばをお客さんが「おいしい」と言う。お客さんが顔を覚えてくれて「たかちゃん」と呼んでくれる。そんな毎日の喜びで「今ではここから離れられなくなった」と貴仁さんは笑う。「継ぐことはもちろん、新しい風も吹かせて唐沢集落を盛り上げていきたい」と柔らかな口調の中にも熱い想いを感じるさわやかな2代目だ。

(3月14日 からさわ亭にて)



働か姿

祖父母の味を継ぐ

たか ひと
上條貴仁さん(中大池)

告知板

分館スポーツ大会日程

- 4月17日(日) 上竹田分館
- 4月29日(金) 小坂分館
- 5月5日(木) 下大池分館
- 5月8日(日) 中大池分館
- 5月15日(日) 上大池分館
- 5月22日(日) 下竹田分館

場所・時間・種目などは各分館役員にお問い合わせください。

館報やまがた縮刷版販売中!

山形村公民館では、館報やまがた縮刷版第4巻を発行しました。平成10年1月号から平成26年8月号までをまとめた村の歴史を語る貴重な資料です。

ぜひこの機会にお買い求めください。

- 販売価格 1冊(全840頁) 7,000円
- 販売窓口 教育委員会(トレセン窓口)
- 取扱時間 平日の8:30~17:00まで

平成28年度版生涯学習カレンダーの配布について

連絡班に加入されていない世帯には、教育委員会から送付されますハガキと引き換えにお渡しします。ハガキを持参のうえ、トレーニングセンター受付にお越しください。

歴史講演会



3月5日(土)、トレーニングセンター大ホールにて『遺跡の発掘でわかる松本平の昔と今』と題して、松本市教育委員会文化財課で日本考古学協会の直井雅尚さん(下竹田)を講師としてお招きし、歴史講演会を行いました。参加者は興味深く聞き入っていました。

スポ団主催 実技講習会



3月6日(日)、トレーニングセンター体育館にて、健康運動指導士の寺平美樹先生をお招きし、「カラダ作りと傷害予防」と題し実技を交えた講習会がありました。ケガを防ぐには体幹を鍛えることが基本。コアトレーニングとストレッチなど、自分のカラダを知ることができました。

スポ団紹介と会長を務めての感想



山形村剣道クラブ 北原 靖久

スポーツ団体連絡協議会(スポ団)は、1年を通じて活動する20のスポーツ団体の代表で構成する団体です。教育委員会の協力で、施設周辺の環境整備、じゃんずらへの参加、スポーツ講演会の開催等、スポーツを通じて村を元気にする活動を行っています。過去宮前光宏氏、宮沢隆氏が約5年ずつ会長を務め、活動を

盛り上げてくれましたが、役員を1年交代の持ち回りとすることに、初年度は私が会長を務めました。今後全員が役員を務めることを踏まえ、スポ団の歴史や各団体の活動を共有する仕組み作りもありましたが、皆様の絶大な協力で1年間無事活動でき、役員短期持ち回りという運営転換は、所属員の参画意識を高め、スポ団の活動を活性化させています。スポ団の活躍、ご期待ください。

山すそ

編集部: 私にとつ

ては緊張と戸惑いの4年間だった。先輩ソラすら出来ずに卒業する日を迎えてしまった。嘘をついて会議を欠席したあの日、代償として一番苦手な役割がまわってきてしまった。嗚咽しながら取材をしたのを境に「やっぱり嘘はダメだ!」と、心は改めたものの、部員のレベルが高すぎてついていくのにやっとだった。私はとにかく簡単な取材が欲しかった。でもみんなは違った。難しいのをやりたがる。何故だでもそのおかげでここまでこられた。4年目の後半にさしかかり、ちゃんとした理由で欠席した時は、もうどんな難しい取材が来ても大丈夫だとちよつと期待したのに、ズッコケるくらいに楽ちゃんページだったことには驚かされた。そんな私でも数々の記録を残し、そうでもないが、異色でいいんだと自分を納得させてみかけた。このみどり色を部員の心の奥底に刻みつけたのかもしれない。村を知り、度胸をいただき、そして、サトルAのブレない生き方を学べた館報編集部に誇りをもてたのは、このうえない喜びなのだ。

前編集部長

山形小学校卒業記念企画

121人のスマイル
(3、4、5画)



1組

6年1組 小山 大貴 先生

ご卒業おめでとうございます。みんなにとって1つのステージが終わりでしたね。そして、新しいステージがやってきます。みんなの夢って何ですか？その夢を叶えるのは、誰ですか？“自分ならでき”“自分だからできる”夢の実現の一番の近道は、自分を信じることです。いつでもみんなを応援しています。頑張れ！みんな！



2組

6年2組 齊藤 博正 先生

『一期一会 たった一人のあなた たった一人のわたし 出会えたのってすごいこと』御木幽石さんの言葉です。この広い世の中で、この一年、みなさんと出会い、毎日を過ごせたことは本当に幸せでした。俺は、みんなの人生の応援団長だから、心の底からずっとエールを送り続けます。また、みんなで会える日を楽しみにしています。



6年3組 井口 淳 先生

読み置かせボランティアの方が、最後の読み聞かせが終わり、目を潤ませていました。「お別れと思うとせつなくて…」とおっしゃっていました。クラブや家庭科や山形っ子タイムなど、みなさんを大事に思う地域の方や家族の愛情に支えられ今の私達がいることを忘れてはなりません。さあ、見えない翼を羽ばたかせ大空へ飛び立とう。



3組

4組

6年4組 小原 妙子 先生

卒業おめでとうございます。私は小学校の時の校長先生のお話で、一つだけ覚えていた話があります。洪水にあった時、心に浮かんだ校歌を歌って救助を待ったという小学生の話でした。小学校で出会ったたくさんの方や事からの中に、自分を支えてくれるものがきっとあります。この6年間で大事に、次の世界へ巣立ってください。



6年1組 限界を飛び越えろ!

6年2組 一心同体

<p>○ 大工になつて、自分の家を作ろう。 赤塚佑輔</p> <p>○ 世界で活躍できる ジャーナリスト 大塚希美</p> <p>○ いそぎよくできるサッカー選手になる。 立音喜久玄徳</p> <p>○ 由幸の送身になつて大工に行つて。 金井日向子</p> <p>○ 野生のレッサーパンダを見る。 金井日向子</p> <p>○ 悪い人を正す刑事になる。 上條皓星</p> <p>○ お父さんやおじいちゃんのような曲長歌ばかりたい。 上條力</p> <p>○ おいしいパンを作るパン屋になる。 上條莉奈</p> <p>○ 世界を早知に平等にホランテアの人になる。 金井麻</p> <p>○ 世界一のレーシングカーとレーサーを支える世界の数々編師 久保田大夢</p>	<p>○ 笑顔いっぱいのカフェテリア 小林夢</p> <p>○ まかかいい 山崎まはる</p> <p>○ みんなの役に立てる仕事かしたい 神尾川 朱莉那</p> <p>○ プロ野球選手か、かっやくしたい。 鈴木朝陽</p> <p>○ 試合で活やくできるサッカー選手になる。 住吉琉星</p> <p>○ みんなもウレシくなるプロボウラーになる。 山崎大誠</p> <p>○ 人のために役立つ仕事かしたい 田中つる春</p> <p>○ みんなで元気にさせられる美容師になりたい 中川乃蓮</p> <p>○ 役にたてる。 土筆 ぽつた</p> <p>○ 動物や魚が生き々と暮せる水族館の飼育員 山中 葉沙</p>	<p>○ されいにカットができる美容師 になりたい。 平沢あかり</p> <p>○ 歴史に名の残る偉大な人間になる 藤原慧大</p> <p>○ 動物に好かれるようなトリマー になりたい 増澤らな</p> <p>○ 地球一屈して動物をいば見たい 真菜さら</p> <p>○ 信頼される保育士 村田七美</p> <p>○ イラストレーター 矢野 穂乃花</p> <p>○ 陸上選手になつて金メダルをもらいたい 山崎まはる</p> <p>○ みんなが安心して暮らせる車を作る。 山田航太</p> <p>○ みんなで楽しんで暮らせるディズニーマスター 橋本杏実</p> <p>○ 高専に行きたい 十口 遥</p>
---	---	--

<p>○ 事務 口目、 梶純如</p> <p>○ プロ野球選手 朝比奈大翼</p> <p>○ イラストレーター なる!! 上条小百合</p> <p>○ 夢は、サッカー選手 で。 藤原希</p> <p>○ 夢はレストランをひらく事 理由はいい物を食べて、 てたかさんの人の笑顔 をみたい 中津田光希</p> <p>○ ドッグトレーナー 佐々木美希</p> <p>○ 人のためになる仕事 佐野魁飛</p> <p>○ みんなにやさしく下せる 看護師になりたい 上野 杏珠</p> <p>○ 動物病院で働きたい 住吉 叶</p> <p>○ 将来の夢は かんごーし 山崎純音</p>	<p>○ 栄養士 種田夏る</p> <p>○ 看護士か 声優 土田 あり</p> <p>○ プロ野球選手 中川元志</p> <p>○ 誰かの役に立てる人になりたい 中川 夏洋希</p> <p>○ 学校の先生 志歩</p> <p>○ ウエディングプランナー 中村優希</p> <p>○ 周りをみて、困っている人に いられる人になる (62 西澤 諒)</p> <p>○ 絵にかかわる仕事かしたい 野音 凌</p> <p>○ スポーツ選手 蓮本依鞠</p> <p>○ 甲子園で勝つ 林 優斗</p>	<p>○ 美容師か 原作者 原田ハ花</p> <p>○ 夢は、パティシエ で。 未優</p> <p>○ 動画配信者 宮腰 希</p> <p>○ モデル 宮本優希</p> <p>○ スポーツ選手 宮藤 直希</p> <p>○ ピアノを教える先生 望月 奏羽</p> <p>○ 看護師 百瀬 有純</p> <p>○ 保育士 百瀬 陽菜</p> <p>○ 消防士 山崎 介</p> <p>○ 人の事を考えられて自分から行動できる人になりたい 吉沢 彩乃</p>
--	---	---

祝卒業!

卒業

卒業



～子育て支援センター「すくすく」まつり開催～



人形劇では皆身を乗り出して観賞し、ヨーヨー釣りやお土産のポップコーンには大はしゃぎと、笑顔いっぱい時間を過ごしていました。保育士の高山恵美さんは「村外からの利用も増えていきます。親子で気楽に来てもらうって、人との繋がりが広がってくれたら」と話していました。



2月20日(土)、開所2周年に合わせて開催された「すくすく」祭りには、土曜日ということもあり、平日利用が難しいお父さんや保育園児など多くの親子連れが参加しました。

中大池中耕地御柱大祭

2月21日(日)、中大池の上手西、上手東、野際、中村の4常会による中耕地御柱大祭が行われました。諏訪大社の御柱祭に合わせ寅と申の年に行われる御柱の建て替えで、4常会の住民80人程が参加し、旧御柱の撤去、新御柱の切り出し、曳行などの作業を分担しました。

地区内の屋敷林から切り出された御柱は、木遣りを流しながら、力を合わせ200m程の距離を曳行し、皮むきなどを行い、建立の準備が整いました。祭りのフィナーレである建て御柱は、クレーン車を使いながらの作業でありましたが、新御柱が無事に建ち上がるに当たり参加者からも笑顔がこぼれました。



わんぱく広場

2月28日(日)、いちいの里調理室にて、高橋紀子さん(フードコーディネーター/食生活アドバイザー/雑穀エキスパート)を講師に迎え、体を温める冬野菜を使った料理教室が約20名が参加して開催されました。



料理教室のメニューは、
・圧力なべの玄米ごはん
・大根とこんにゃくのから揚げ
・れんこんと長いものロースト(長ネギソース)
・白菜のマリネ、季節野菜の塩もみ
・季節野菜(ゴボウ、ニンジン、長ネギ等) 具たくさん味噌汁
・リンゴのコンポート
の6品で、各冬野菜の特徴や切り方、注意点を教えていただき、参加した子どもたちも一緒に調理しました。す

べて完成した後、参加者みんなで試食しました。なかでも玄米ごはんは「家で食べている玄米ごはんより格別においしい」との声が聞かれました。



子ども会育成会
まとめの会

3月6日(日)、トレセン大ホールで子ども会育成会のジュニアリーダーまとめの会が開催されました。

今年度、ジュニアリーダーは13人が任命され、作戦会議や山形じゃんずらへの参加など年間約10回の活動を行ってきました。1年間のまとめをするこの日は、ジュニアリー



ダー一人ひとりに賞状が手渡されました。その後の慰労会では、和気あいあいとゲームが行われ、来賓や関係役員みんなで楽しみました。



おめでた(子・親)

(敬称略)

- 齊藤 朱里・弘明・下竹田
- 小嶋 紗枝・慎吾・下竹田
- 前田 和花・和成・下竹田
- 川原田 奏羽・天輝・上竹田
- 川原田 奏羽・奈々
- 鈴木 雪美・93歳・下竹田
- 中川 一子・88歳・小坂
- 小林 ますよ・96歳・小坂
- 上條 孝行・81歳・中大池
- 小野 良徳・80歳・小坂
- 唐沢 良子・96歳・下竹田

おくやみ



退任にあたり

山形村教育長 山口 隆也

このたび3月31日をもって、4年間の任期を終了し、山形村教育長を退任いたします。

この間、ご指導・ご協力をいただきました村民の皆さまに心から感謝申し上げます。

4年間を省みますと、地域とともにある学校づくり」に関わったことが、強く印象に残っています。

子どもたちは、学校・家庭・地域に生きるさまざまな大人と関わることで、いろんな体験をして「生きる力」を身に付け、豊かな心を育んでいきます。

しかし、社会環境が急激に変化している中で、価値観やライフスタイルの多様化等を背景とした、地域のつながりや支え合いの希薄化、家庭の孤立化などで山形村の子どもたちを取り巻

く環境は大きく変化しています。

そんな中、山形小学校では、平成24年5月に地域の皆さん、保護者の皆さん、小学校の先生方と、地域、家庭、学校が一体となって、地域ぐるみで子どもたちを育てていく「学校支援地域本部」を立ち上げました。

「学校支援地域本部」では、地域の皆さん、保護者の皆さんが学校支援ボランティアとして「読み聞かせ」、「クラブ活動」、「学習」、「安全・安心」などを「できる時に・できることを・できる範囲で」を基本にして、直接子どもたちと関わりながら支援活動をしています。

4年目の平成27年度は、120人、延べ1,500人の方から支援をいただきました。支援ボランティアの方から「子どもたちのありがとうの

言葉に充実感と喜びをもらった」や「これからも子どもたちのために尽くを出すか」などの言葉をいただきました。

「いいまちは いい学校を育て、いい学校は いいまちをつくる」と言われています。

多くの村民の皆さんから支援をいただきながら、この活動が継続して発展し、確かな学力をつけ、しっかりとした心と体力をつけ、豊かな心をもった、ふるさと山形村を愛する子どもが育ち、将来の山形村を担ってくれることを願っています。

村民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。退任の挨拶といたします。長い間、ありがとうございました。



誌上で巡る山形の道祖神

案内人 籠田次郎

所在地・下竹田屋敷 下竹田八又停留所
碑身・縦長の自然石 高さ六五〇 幅四五〇

アイシティからわずか南に上がり、橋を渡った辻の周辺が原町連絡班で、下竹田のバス停があり右側の角に赤い消火栓と石碑が見えます。

これが道祖神で、碑面には『道祖神』と彫られ碑と台石は共に丸みをおびた川石です。高さ65センチ、幅45センチのこごんまりしたどこにでもある道端の石で作られており、底面を削り安定させています。

この碑の素晴らしさは 石いっばいに大きく大きく運筆され、彫も深く堂々としていて勇壮さが感じられます。揮毫した作者が分からないのが残念です。 碑の裏面には縦書

きで「紀元二千六百年・昭和十五年三月吉日建之・耕地中・石工村上安千代」と彫られています。石工は下竹田生まれの腕の良い職人で、手掛けた石碑や石垣は村内外にあると知られています。石工名入りの石碑は希少で、村内には前に紹介した『四良右門兼氏』と2体のみで貴重なものです。元の場所は50メートルほど西で、生活用水に困っていた住民が井戸を掘ったところ待望の水が出たことを祝い道祖神を祀ったのだと古者は語ってくれました。昭和30年代まで地域のつるべとして重宝がられていました。



大自然の懷に 抱かれながら

保坂 一彦さん
満喜子さん
(下竹田 清水高原)



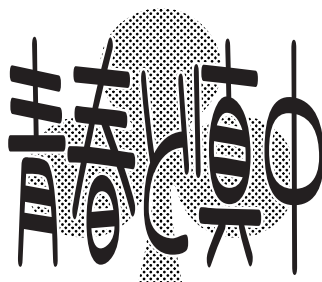
25年前に家を建て、6年前に東京から完全移住してきた保坂さん夫婦。40年間一緒にやってきたデザインの仕事は、清水高原に場所を移した現在も行っていきます。土地を購入した当時は、東京と実家の中間的な場所という理由でこの土地を選んだようですが、「1年を通して自然を満喫できる」「静けさが良い。」などと、今ではすっかりお気に入りの様子。1月の雨水による災害の時も、心にも「備え」があつたのでパニックにはならなかつたといひ、自己責任といった考えや覚悟がなきゃ、ここには住めないよ」とキツパリ。

定住を始めた年から、清水寺を会場とした琵琶の演奏会を企画。それに賛同してくれる仲間たちと「清水たのしもう会」も立ち上げた。また、毎年「アートフェスティバル」というイベントを行うなど、清水高原から全国に向けて山形村を発信してくれています。

「アーティストやものづくりの人たちがもつと定住してくれば、特色ある清水高原になる」という考えも持っていて、「アートビレッジ的な存在になればいいなあ」と夢を語ってくれました。

夫婦共通の趣味は、やはりアート。美術館やアトリ工などにも足を運んでいるそうです。

ふるや りりな
古箭 凛々菜ちゃん
下竹田
(保育園年長)



えいと
高山 瑛登くん
下竹田
(保育園年長)

もうすぐ一年生編

アイドルに
なりたいたいな



スマツシユは
エア・エイ?!



小学校に上がったら友達をたくさんつくって、遊んだり勉強したりしたいという瑛登くんは、週に一回、松本のテニススクールに通ってテニスを楽しんでいる。

明るく元気で面白く、周りのみんなを笑わせることが大好き。

家では大きな板の上に創造しながらブロックで建物を並べて街を作ったり、飛行機などの乗物を作るなどしている。

大きくなったら運転免許を取って家族を旅行に連れて行きたいという家族思いの男子です。

とても明るく一日中話し続けるほどおしゃべり好きな凛々菜ちゃんはみんなの人気者。

厚紙などでモノを作ることが大好きで今はダンボールを使った家づくりの夢中。完成したら一番のお気に入りのシロタン(ゴマアザラシのぬいぐるみ)のおうちにするのと微笑む。

小学生になったらいろんな人のお手伝いをしたいというしっかりものの凛々菜ちゃん、将来、アイドルになることを夢見るかわいらしい女の子です。